

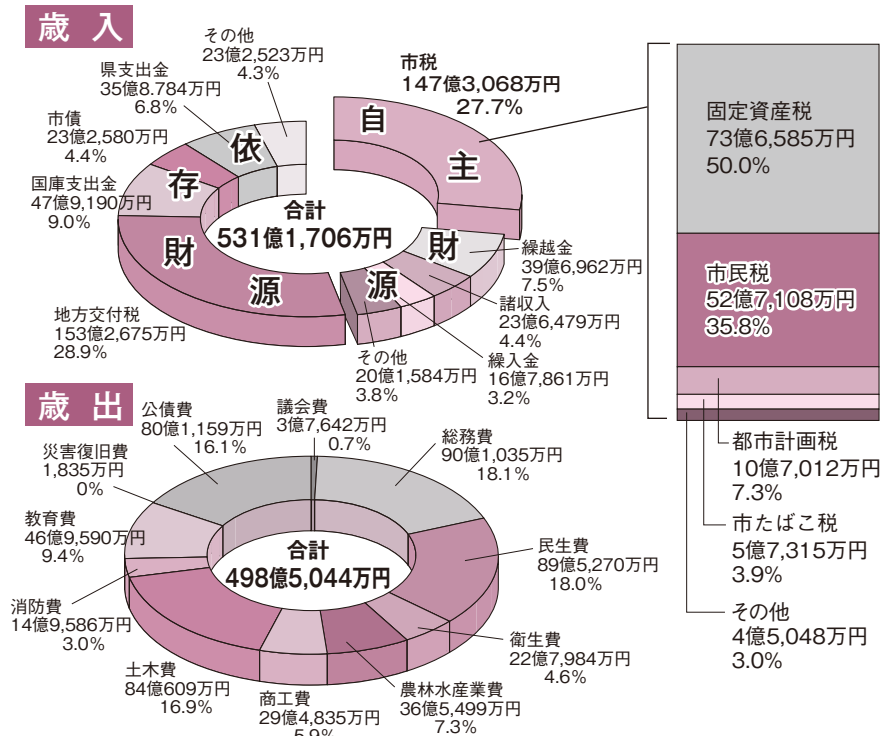
平成20年度

決算

知恵を絞って 大切に使っています

それぞれの家庭に家計が、また、会社や団体ごとに収支決算があるように、市にも年度ごとに予算と決算があり、知恵を絞ってみなさんからの税金を大切に使っています。平成20年度決算が市議会定例会で認定されましたので、そのあらましをご紹介します。

● 入ったお金と使ったお金の内訳 (一般会計)



歳入 531億1,706万円 歳出 498億5,044万円 差引残額 32億6,662万円

● 特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引残額
国民健康保険事業(事業勘定)	94億693万円	88億1,375万円	5億9,318万円
国民健康保険事業(直診勘定)	7億6,403万円	6億387万円	1億6,016万円
老人保健医療事業	8億5,716万円	7億5,168万円	1億547万円
下水道事業	44億9,850万円	44億6,236万円	3,614万円
地方卸売市場事業	5,300万円	4,784万円	516万円
学校給食費	3億8,303万円	3億8,294万円	9万円
簡易水道事業	9億4,858万円	8億8,518万円	6,340万円
農業集落排水事業	8億5,818万円	7億9,751万円	6,067万円
介護保険事業(保険事業勘定)	75億8,564万円	73億391万円	2億8,173万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	3,193万円	2,532万円	661万円
観光施設事業	1億1,482万円	7,853万円	3,628万円
スキー場事業	1億4,025万円	7,130万円	6,895万円
後期高齢者医療事業	8億7,442万円	8億3,913万円	3,528万円
計	265億1,646万円	250億6,333万円	14億5,314万円

※四捨五入で差引残額が合わない場合があります

財政指標に見る決算

健全な市財政の運営

● 財政力指数

基準値を1とし、1を超えるほど財政力が豊かであるとされている指標です。

高山市の財政力指数は、平成18年度が0.533、19年度は0.556、20年度は0.562と前年度に比べて0.006ポイント高くなりました。

● 経常収支比率

財政の弾力性を計る指標です。支出のうち、人件費や公債費など必ず支払わなければならない固定的な経費が、市税や地方交付税などの収入に対してどれだけ占めているかをみることができます。

率が低いほど臨時的な経費にお金を回せることになり、財政に余裕があることとなります。80%が健全財政の上限で、それ